

<船江地区2地点の測定結果>

【地点No.1】

測定年月 : 令和8年2月

地点名 : 新潟市東区船江町1-62 (市営船江町団地内)

環境基準地域類型 : II 類型

環境基準値 : Lden 62dB以下

日	曜日	測定値 Lden (dB)	週間値 Lden (dB)	騒音レベルの パワー平均 (dB)	騒音 測定回数	備考
1	日	52.9	53.4	79.8	17	速報値
2	月	53.4		79.8	19	速報値
3	火	51.5		78.2	20	速報値
4	水	53.0		78.9	23	速報値
5	木	52.9		79.6	20	速報値
6	金	55.6		81.2	22	速報値
7	土	53.2		79.9	22	速報値
8	日	53.1	53.0	80.5	19	速報値
9	月	53.1		79.0	18	速報値
10	火	51.5		79.6	16	速報値
11	水	53.2		80.5	17	速報値
12	木	53.9		79.6	24	速報値
13	金	53.6		78.8	25	速報値
14	土	52.1		79.1	18	速報値
15	日	52.7	53.1	80.1	17	速報値
16	月	54.3		79.9	23	速報値
17	火	52.9		79.0	23	速報値
18	水	54.1		80.0	22	速報値
19	木	52.8		79.3	21	速報値
20	金	53.0		78.8	21	速報値
21	土	51.5		79.3	17	速報値
22	日	50.8	53.2	78.4	18	速報値
23	月	53.1		79.9	19	速報値
24	火	53.8		80.0	25	速報値
25	水	53.1		81.0	13	速報値
26	木	51.5		78.2	23	速報値
27	金	54.1		79.6	23	速報値
28	土	54.6		81.2	23	速報値
合計					568	
平均		53.2		79.7	20.3	
最大		55.6	53.4	81.2	25	
最小		50.8	53.0	78.2	13	

※Ldenとは、航空機騒音の評価指標（時間帯補正等価騒音レベル）のことです。エネルギー積分により騒音の総暴露量を評価できる等価騒音レベルのひとつで、夕方や夜間の騒音に重み付けをして評価します。

多くの国で採用されており、国際的に騒音の評価指標として主流となっています。

【地点No.2】

測定年月 : 令和8年2月

地点名 : 新潟市東区船江町2-11-3 (臨空船江会館地内)

環境基準地域類型 : II 類型

環境基準値 : Lden 62dB以下

日	曜日	測定値 Lden (dB)	週間値 Lden (dB)	騒音ピークレベルの パワー平均 (dB)	騒音 測定回数	備考
1	日	48.3	48.6	75.6	21	速報値
2	月	48.7		76.3	18	速報値
3	火	47.4		74.0	26	速報値
4	水	49.6		74.1	42	速報値
5	木	47.8		73.4	34	速報値
6	金	49.4		74.8	25	速報値
7	土	48.3		73.4	30	速報値
8	日	47.9	48.0	74.7	19	速報値
9	月	48.0		74.8	21	速報値
10	火	46.8		72.3	40	速報値
11	水	47.8		75.2	20	速報値
12	木	49.6		74.8	34	速報値
13	金	48.7		73.8	36	速報値
14	土	46.6		73.1	28	速報値
15	日	46.2	48.6	74.2	21	速報値
16	月	49.6		73.1	37	速報値
17	火	49.6		72.9	46	速報値
18	水	50.7		76.0	22	速報値
19	木	47.8		74.9	23	速報値
20	金	47.5		73.5	27	速報値
21	土	46.6		73.9	21	速報値
22	日	45.0	49.3	72.5	21	速報値
23	月	46.0		73.8	21	速報値
24	火	49.7		74.7	33	速報値
25	水	50.0		75.9	24	速報値
26	木	50.6		75.0	41	速報値
27	金	51.2		75.7	36	速報値
28	土	49.0		75.2	25	速報値
合計					792	
平均		48.6		74.4	28.3	
最大		51.2	49.3	76.3	46	
最小		45.0	48.0	72.3	18	

※Ldenとは、航空機騒音の評価指標（時間帯補正等価騒音レベル）のことです。エネルギー積分により騒音の総暴露量を評価できる等価騒音レベルのひとつで、夕方や夜間の騒音に重み付けをして評価します。

多くの国で採用されており、国際的に騒音の評価指標として主流となっています。